

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：九州地方整備局道路部地域道路課

担当課長名：西川 勝義

事業名	主要地方道長崎南環状線 ながさき女神大橋道路	事業区分	一般有料 道路事業	事業主体	長崎県道路公社
起終点	自：長崎県長崎市木鉢町 至：長崎県長崎市戸町	延長	1.9 km		

事業概要

主要地方道長崎南環状線は、長崎市大浜町の一般国道202号を起点として同市田上町の一般国道324号に至る、長崎市南部の環状道路を形成する延長8 kmの幹線道路である。

事業の目的、必要性

本路線の整備は長崎市南部地域の慢性的な交通渋滞の改善と長崎港によって分断されている長崎西部地域と南部地域の連携強化を図ることを目的としており、これにより、住民生活の利便性の向上や、産業・経済活動の活性化に大きく寄与するものである。

特に、長崎港を大きく跨ぐことから便益が大きく、また、質の高い交通サービスを提供することができる道路となる。このため、有料道路制度を活用することで、道路整備をより早く効果的に展開し、かつ、長大橋に対する維持管理体制をより確実なものとする。

全体事業費	3.45億円（うち有料事業費1.0億円）		計画交通量	3,700台/日	
費用対効果 分析結果	B/C 2.0	総費用 3.39億円 （事業費：3.37億円 維持管理費：2億円）	総便益	6.80億円 （走行時間短縮便益：6.08億円 走行費用減少便益：5.1億円 交通事故減少便益：2.1億円）	
			基準年	平成15年	

事業の効果等

- ・円滑なモビリティの確保（混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善等）
 - ・物流効率化の支援（重要港湾長崎港へのアクセス向上、港湾直轄事業との交通連携事業等）
 - ・都市の再生（広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路の形成等）
 - ・災害への備え（緊急輸送路（R202、R499）が通行止めになった場合の代替路線を形成等）
- など15項目に該当

関係する地方公共団体等の意見

女神大橋を中心とした当路線は、都心部の渋滞緩和、地域産業・経済の活性化のために不可欠な道路であることより、長崎市等関係1市7町の首長と議会議長で構成される女神大橋建設促進協議会から、平成15年5月12日に早期完成の要望を受けている。

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。